未来へつなげ150年目のバトン！
～笑顔の花をいつまでも～

大銀杏

～すてきな笑顔　明るいあいさつ～
日置市立上市来小学校

一言加えた挨拶の力で子供たちの心に光を届けよう!

令和７年６月
校長

【校長室の感】

子供たちと私の一日の生活のスタートは「おはよう」の言葉で始まります。朝の校長としての理想的な姿は，学校にいて，子供たちや教職員の始業前の状況を把握し，適切な指示をするということなのでしょうが，私は，子供たちはもちろんのこと，保護者や地域の皆さんと言葉を交わす貴重な時間だと思い，可能な範囲で学校外に出ています。そのようなとき，出会うのが，「おはよう」の言葉です。何の変哲もないたった４個の文字からできた言葉ですが，声に出すことによって力になります。ある男の子は，にこやかな表情で私を見つめながら「校長先生，おはようございます」と言ってくれます。通学バスを待っている中学生も「おはようございます」と言って，会釈をしてくれます。そのような挨拶をしてくれると，その子供の「おはようございます」の言葉が光となり，私の心に広がってくるのを感じます。また，ある男の子の挨拶は，けっして大きな声ではないのですが，「おはようございます」の言葉に，強い思いが込められていることを感じ，私の気持ちも清らかになります。日本人が交わすこのような「おはよう」「こんにちは」「さようなら」などの挨拶の言葉は，その後の言葉が省略されたものと聞いたことがあります。本来は，「おはよう，ご機嫌いかがですか」とか「さようなら，明日もまた，会いたいですね」などの言葉があったものが，挨拶の言葉として短くなり，概して，前の言葉だけが交わされるようになったものだそうです。ですので，学校では，「おはよう，いい挨拶ができたね」「おはよう，今日は，いい天気だね」とか「さようなら，気をつけて帰ろうね」などと一言を付け加えて，声をかけるようにしています。つまり，それだけでも力ある挨拶の言葉に，一言を加えることで，相手に届く言葉の光がさらに強くなるのです。

ぜひ，ご家庭でも，まずは，朝，起きたら「おはよう，よく眠れた？」などの言葉を明るく投げかけ，子供の心に光を与えてください。そうすることで，子供も，そして自分までも，どこかくぐもっていた気分が変わると思います。でも，「おはよう，早くしなさい」というようにだけは，ならないようにお願いします。

～家庭学習のすすめ（５つの確立）～

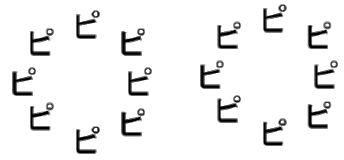
１．生活のリズムを確立する。
　（朝食と睡眠をしっかりとる）
２．コミュニケーションを確立する。
　（家族で話し合える雰囲気をつくる）
３．家庭学習の習慣を確立する。
　（低学年20～40分以上，中学年40～60分以上
　高学年60～90分以上の習慣をつける）
４．読書の習慣を確立する。
　（テレビ，ゲームより本に親しむ環境をつくる）
５．自分の得意分野を確立する。
　（その子なりのよさを伸ばす）

【頭の体操】

①何と読む？

あいうえ♨
♨きくけこ

②何と読む？



前回の答え（①秋葉原②炊飯器）